

専門学校読売自動車大学校

学校関係者評価 報告

「平成 30 年度」

令和元年 9 月 2 日

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業役職員等の学校関係者を選任し、学校が実施した平成 30 年度における自己点検評価の結果に関する評価を行い、教育活動と学校運営の改善に向けた助言を行う。

なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策等が適切であるかどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

2. 学校関係者評価委員会の実施

平成 30 年度の「自己評価報告書」を、学校関係者委員に事前に送付した上で委員会を開催し、ご意見・ご提案を頂いた。また、委員の皆様には基準項目毎に 4 段階で評価頂き、その結果も含め報告書としてまとめた。尚、第 1 回委員会においては昨年度の教育活動や学校運営についての評価と今後の課題の提起を行い、次回の第 2 回委員会では令和元年度の間評評価と次年度への取り組み課題等の討議を行う。

<令和元年度 第 1 回> 開催日時：令和元年 7 月 25 日（木）17：00～18：00

場 所：610 教室

<令和元年度 第 2 回> 開催日時：令和元年 11 月 14 日（木）17：00～18：00

場 所：510 教室

3. 学校関係者評価委員会の出席者

① 学校関係者評価委員

- ・齋藤 義明：地域住民 亀戸 2 丁目町会副会長
- ・今井 一之：企業等 (株)関東マツダ
- ・松本 等：卒業生 読売自動車大学校同窓会 会長
- ・梅田 裕子：保護者 1 級整備学科 2 年生在学

(敬称略・順不同)

② 学校側参加者

- ・千葉 康文：理事長
- ・榎本 俊弥：校長
- ・岡島 毅：事務局長
- ・渡辺 宜男：校長補佐
- ・北村 眞一：1 級整備学科 学科長
- ・北島 鎮夫：自動車整備学科 学科長
- ・鈴木雄一郎：教務委員長

4. 学校関係者評価委員の意見・提案と評価平均点 (平成30年度 学校関係者評価)

基準1 教育理念 3.8 (前回 3.6←4.0←3.6)

- ・企業が求める人間性と技術力に対して試行錯誤しながらも項目を明確にし、積極的に対応しており、大変良いことであると思う。
- ・きちんとした理念の下に進められていると思う。実績を残してほしい。
- ・今後も企業連携を深めてほしい。

基準2 学校運営 4.0 (前回 3.6←3.8←3.6)

- ・高校生の車離れ傾向の対応策として、保護者への説明会の開催等により理解を頂く場を多くもつことは大変有意義なものだと思う。また、留学生の資格取得以外の活動でのオーバーワークを未然に防ぐ活動も大変重要なことであると思う。
- ・今はだれもが当たり前のように普通に大学へ進学する時代であり、職人になる人が少なくなっている。貴重な人材を大事に育ててほしい。
- ・今後も日本人学生に向けた募集アピールが必要と考える。

基準3 教育活動 3.5 (前回 4.0←3.6←3.3)

- ・当社で実施しているセミナーについて、学生指導に対しても助けになってもらいたい。開催前に内容の事前打合せを行うことにより、より有意義なものにしたい。
- ・新しい技術が次々と生まれている。それに対応するのは大変だと思うが、いろいろな方策を考えて頑張ってもらいたい。
- ・1級は、学校側が設定した研究だけではなく、グループや個人が設定した研究の検討も願いたい。
- ・休み期間中での研修を充実させた方がよい。
- ・自動車部品の名称は、一般名、教科書、メーカーで呼び方に違いがあり、これも研究対象となりえる。

基準4 学修成果 3.5 (前回 3.6←3.6←3.0)

- ・現在、留学生の採用を見送っているが、今後の労働力確保のために留学生の採用を検討するうえで、同じような内容であっても多くの事例や留学生の管理方法等のご指導を頂きたい。
- ・学校で修得したものが、就職後にどのように生かされているかなどの調査を進めてほしい。
- ・落ちこぼれる人が出ないように特別授業等でフォローしている姿勢は良いと思う。
- ・退学率は、同業他校と比較・検討が必要と考える。

基準5 学生支援 3.5 (前回 3.6←3.8←3.3)

- ・コミュニケーション・ツールとして、イベントなどを増やすことも検討してほしい。
- ・高校生に対して積極的に学校の魅力をアピールすることや、小中学生に向けた職業理解の場を設ける活動は大いに賛成であるとともに、出来る範囲で協力をさせてほしい。
- ・就職するまで面倒を見ている点は良いと思う。

基準 6 教育環境 3.8 (前回 4.0←4.0←3.5)

- ・ 勉学をする場として過剰な投資は必要ないが、必要最低限の空間と、車両や整備機器等高価ではあるが、その時々にあった教材の配備に努力をお願いします。
- ・ 毎年、環境整備を行っている点は良いと思う。
- ・ 設備・教材の老朽化が気になる。

基準 7 学生の受け入れ募集 3.5 (前回 3.3←3.6←3.6)

- ・ 学生の体験談や、卒業後の活躍などを、もっとアピールするとよい。
- ・ 留学生受入については、他校に比べ積極的に取り組んでいるが、最近では他校に比較して留学生数が多い状況になっており、先生方の負担を含め、日本人の割合を多く出来るよう努力頂きたい。また、学生募集に対しては、企業として協力をしたいと考えている。
- ・ 職人になりたいと思う人が少なくなっている現状で、魅力ある学校を知らせる良い方法があれば良いと考える。
- ・ WEB で”自動車整備士 専門学校”と検索すると、他校だけが出るのは寂しい。

基準 8 財務 4.0 (前回 3.6←3.8←4.0)

- ・ 健全経営である。

基準 9 法令等の遵守 4.0 (前回 3.6←4.0←4.0)

- ・ 特になし

基準 10 社会貢献・地域貢献 3.3 (前回 3.3←3.4←3.0)

- ・ ボランティア活動によって、生徒と地域の交流につなげていることは非常に良い。
- ・ 学生にとって、勉学以外でとても大切な領域であると思うので、多くの学生が社会貢献に参加できる機会を多く設けてほしいと思う。
- ・ 学生は学ばなければならないことが多いため、他のことまで目を向けるのは大変だと思う。
- ・ 学校周辺の定期的なゴミ拾い活動などを検討したらどうか。

基準 11 国際交流 4.0 (前回 3.6←3.8←3.3)

- ・ 仕事する上で必要となる日本語コミュニケーション能力については、欲を言うとキリがないが、質のよい対応力が身に付くように教育してほしい。
- ・ 留学生も多いので、異なる国の出身者間で交流する場があれば良いと思う。
- ・ 多くの人とコミュニケーションを持つという観点から、クラス内での班編成を4クォータごとに組み替えるなども検討してほしい。

令和元年度の取組状況

- ・専門的にしっかり考えて方針を決めているため、特別に指摘できる事はない。

まとめ

委員の方々のご意見・ご提案を参考として、今年度及び来年度に向けた学校運営の検討を行う。

以上